

岐阜県立東濃高等学校

学校長 青井 俊久
学校住所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1
0574-67-2136 fax0574-67-6204
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

- | | | | |
|---|------|---|--|
| 1 | 会議名 | 学校運営協議会 | (第1回) |
| 2 | 開催日時 | 令和3年6月8日(火) | |
| 3 | 開催場所 | 書面開催 | |
| 4 | 参加者 | 委員 | 寺本 公行 御嵩町副町長
各務 眞弓 NPO法人可児市国際交流協会 事務局長
田中 妙子 会社経営・税理士
山田 泰平 東海化成工業(株)
渡邊 剛 地域代表
三澤 秀之 東濃高等学校PTA会長
仲谷 ちぐさ 東濃高等学校PTA副会長
井口 和広 東濃高等学校PTA副会長
瀬瀬 江美 東濃高等学校PTA書記
井戸 くるみ 東濃高等学校PTA会計 |
| | 学校側 | 青井 俊久 校長
高水 正明 教頭
服部 一也 教務主任
前田 知美 生徒指導主事
大宮 学 進路指導主事 | |

会議の概要(協議事項)

(1) 学校の運営に関するご意見

- ・教育目標やマニフェスト、演劇ワークショップ等について

意見1 ICT教育について、御嵩町の小中学校においても一人一台タブレットが配備された。今後は高校と連携し、情報共有できるとよい。演劇ワークショップの実施については、生徒達の安全第一である。

意見2 新型コロナ感染症などの問題がなくなったら、演劇ワークショップの様子を見たい。

意見3 演劇ワークショップ、ふるさと教育の推進など、社会人になる準備の取組が充実している。

意見4 2・3年次で開講する「少人数コミュニケーション講座」の充実が良い取組だ。コミュニケーションは、学校生活で生徒本人の自己表現や各取組について表現をおこなう基礎となり、更には社会生活での基本となる部分が多く含まれる。多国籍でのコミュニケーションは難しい部分もあると思われるが、お互いにコミュニケーション手法を体感することで、双方の表現や考え方の違いを改めて認識出来る事になる。また違いを認識するだけに留まらず、融合したコミュニケーションが活発に図られるよう、先生方には参加生徒に対して積極的な取組をおこなう指導をお願いしたい。

意見5 昨年度の運営を踏まえて、更に改善したいこと、推進したいこと、充実したいことを明確にした上で、今年度の「高等学校版マニフェスト」となっている。

外国につながる生徒の入学人数が急増した今年こそ「演劇ワークショップ」を予定通り3回実施し、体験・体感して欲しい。

「第10回プレビア日本語作文コンテスト」に2名の生徒が入賞し、表彰状を披露している写真を見た。本人の努力はもちろんのこと、きめ細かい学校の教育目標（指導体制）が功を奏した結果だと思う。

意見6 コロナ禍で県外へ行くことがなかなか難しい今だからこそ、地元の良い所を調べ、体験してほしい。

意見7 「あじみ」のできる学校、あいさつ運動でみた生徒の様子でも大方できていると思う。もう一つ上の目標をたててもよいのではないか。

少人数コミュニケーション講座について1～2ヶ月に1回保護者に連絡があるとありがたい。

演劇ワークショップについて、外国につながる生徒が多いこともあるが、2、3年生でもぜひ取り入れてほしい。

(2) 外国につながる生徒の状況について

意見1 県外の高校の事例を聞く機会があった。定時制と全日制の違いや、教育課程の違いがあるが、特別な課程の高校独自の取組や個別の指導計画をたてて指導し、取出しの教科学習などで日本語を教え担任や教科担任と連携している。入学時の日本語力の把握が大事で、保護者の理解を得た上で、日本語力評価テストを実施し、個別の指導に生かしている。1人1人の個性等の背景や使用言語など詳細な聞き取りにより作成されたシートを担任や進路担当と共有している。日本語教師が母語力、日本語力などを担任や教科担当、進路担当に情報共有している。東濃高校は学校全体で取り組めていないことが最大の課題ではないかと考えている。

意見2 国籍に関係なく、教育目標の知、徳、体の調和のとれた社会人に育ててほしい。

意見4 地元からは電車内や通学路で明るく元気に挨拶が返ってくる生徒の姿が見える。通学路の変更に適応し、整然と歩いて登下校している。先生達の定期的な巡回によって、服装と遅刻に変化が表れている。特に服装と遅刻に気を遣っていることを感じている。校風が定着してきたことを感じている。

意見5 保護者や生徒の意見を取り入れる場を設けてはどうか。

意見6 外国につながる生徒の人数が多くなった分、日本的文化になじまないままなので、彼ら向けの生活指導があるとよい。また、お互いに文化を理解する必要がある。

(3) 学校行事等について

意見1 「みたけ華ずし体験」など地域の人が先生となって交流する授業はとてもよい。小学校や幼稚園などで実施していた英語で交流も継続できるとよい。

意見2 Webで参観できるとよい。コロナ禍でほとんど中止なので何か地元の行事に東濃高校の生徒として参加できるとよい。

(4) 卒業生の進路について

意見1 進学が増えることは望ましいが、専門学校に進学する生徒にとっては学費が高いため、奨学金やローンの相談が必要である。

意見2 比較的、地域に根差した就職先になっていると思う。多くの生徒が地元志向である事は、地域としては望ましいが、外国につながるのがある生徒は、家庭の事情が許せば、母国語、日本語を活かした就職先が地域外に多くあると思われる。

言語の優位性について認識をさせ、生徒の視野には留まらない、幅広い就職先を進路指導にあたる先生方が開拓し、以降に続く外国につながる生徒の道筋をつけることができればよい。

意見3 昨年度、進学者の皆さんは、コロナ禍にもかかわらず、頑張ったと思う。後に続く後輩のお手本となるような学生生活を送ってほしい。就職者の皆さんは、今年も先輩が勤務している地元企業に多くの人が入社した。先輩、後輩の信頼関係が定着し、勤務年数も長期にわたっているからだと思う。

意見4 外国につながる生徒の特性である語学を生かせる進路希望が実現するとよい。

意見5 コロナ禍でも53名が就職することができてよかった。説明会等を行うことはなかなか難しいので、進路通信やメールなどで情報を出してもらえると保護者も早めに意識できる。

(5) 部活動について

意見1 コロナ禍で活動がかなり制限されている中でも、活動できていてよかった。多くの生徒が、何かしらの部活に関わってほしい。

意見2 活動成績の内容に関わらず、他でクラブ活動を実施していない生徒が少しでも部活動に参加出来る指導をお願いしたい。学生生活での部活動等による経験は、多くのものを学べる機会になる。

意見3 野球部員がそろい、本格的な活動が始まっていると聞き、顧問の先生、学校全体での取組によって、念願の体制が整ったのではないかと思う。楽しみが増えて嬉しく思う。地域の仲間と応援したい。

ロボコン部の世界大会出場をはじめ、部活動やコンクール受賞等の活躍ぶりに目を見張った。この成果を文化祭や地域施設等での発表や実演できる機会があればと思う。

(6) 生徒心得について・制服のあり方について

意見1 「スタイリングセミナー」など制服を着る意味や、ものを大切にする指導などなぜそうするのかを理解させる指導はとてもよい。校則や制服の正しい着方など「規則だから」という指導では、生徒たちは納得しないと思います。

制服については、一部リサイクルを実施することができた。来日年数が浅い生徒もおり、入学時だけではなく買い替えもリサイクルが利用できるのも助かる。また、ものを大切にする精神も育まれる。また、セーター、ベスト等の着用についても制限が緩和されたようでよかった。服装のTPOを考えることもでき体調管理の面でもよかった。

- 意見2 高校生としてのマナーが守られていれば、特に細かな制服などの規則は必要ない。
- 意見3 校則や制服等が今の時代に合わないものがある。SDGsにも絡めながら生徒が中心になって考えてほしい。
- 意見4 生徒に無理のない範囲でできていて、よい。
- 意見5 年々気温の変化が大きくなっているので、夏服への移行期間を早めにし、期間を長めに設定してほしい。

(7) スクール・ポリシーについて

- 意見1 どういう生徒を迎え、どういふ生徒に育てたいのかそしてどう育てていくのか、ぜひ学校全体で議論し、地域にも広げてほしい。
- 意見2 社会人になる為に必要な知識や行動を学べる場であってほしい。
- 意見3 HPに記載がある「地域に信頼される学校を目指しています」との掲示内容から、これを基に検討する事がよいと思う。また、多国籍による多様性の文化が育みやすい風土になっている点、多様な学びや進路に対応する授業を受けられる単位制や類型を実施している点についても触れていく必要がある。
- 意見4 外国につながる生徒等を含めた様々な生徒達が通学する東濃高校には多くの可能性がある。社会に出るにあたって、自分はどのような分野に進んで行きたいのか、行くつもりなのか、具体的に考えることができる機会をたくさん持てることがとても大切ではないか。
- 意見5 卒業までの3年間でもっと向上心を持ち、自分の価値を高められる教育目標を出してほしい。将来に希望を持って入学し、卒業していける内容であって欲しい。

(8) その他について

- 意見1 外国につながるのがある生徒達が編集した「学級便り」を発信できないか。地域住民の興味・関心が深まり、外国につながるのがある生徒達が勉学に励んでいる事実を知ること、学校の理解者・応援者も増えてくると思う。
- 意見2 赤点のラインが30点は低すぎる。最低でも60点は必要なのではないか。勉強が生徒の仕事と考えると30点の仕事で満足しては卒業してから本当に困る。60点が赤点ラインの学習指導をして欲しい。

6 会議のまとめ

令和3年度の本校の学校運営方針については、全ての協議会委員より承認が得られた。委員の方からの意見を受けて、評価していただいているところと、今後の課題について考えていきたい。スクール・ポリシーについては今後、具体的に検討を重ねていく予定である。また、学校行事等については、今年度も感染症対策のガイドラインを遵守しながら取り組んでいく。